

東京歴史科学研究会 2014 年度歴史科学講座

現代天皇制と歴史学

〈昭和の終焉〉の事例から

■報告 瀬畑 源氏（長野県短期大学）
■コメント 宮地正人氏（東京大学名誉教授）

1989 年の〈昭和の終焉〉前後、歴史学関係学会・研究会等は、その状況に対応して学会誌上での企画・シンポジウム・出版活動などを活発に行いました。このことが、天皇制研究の進展にも大きな影響を与えたのは周知の通りです。今回の歴史科学講座では、代替りから四半世紀が経過した今、気鋭の研究者である瀬畑氏に当時の状況を振り返り検討を行っていただきます。また当時実際に様々な活動に関わった研究者である宮地氏にコメントをいただくことで、今後これらの問題をどう考えるか議論する機会となれば幸いです。当時を知る方・知らない方ともに、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

■日時 2015 年 1 月 25 日（日）
14 時 開始（13 時 30 分 開場）

■会場 明治大学 駿河台キャンパス JR・地下鉄 御茶ノ水駅 徒歩 3 分
グローバルフロント 1 階 多目的室 地下鉄 新御茶ノ水駅／地下鉄 神保町駅 徒歩 5 分

■参加費 600 円

東京歴史科学研究会

〒114-0023 東京都北区滝野川 2-32-10-222
歴史科学協議会気付 / Tel&Fax 03(3949)3749
E-mail torekiken@gmail.com / Twitter @torekiken